

もくじ

- P 1 · · 令和 7 年度農林水産予算概算要求の概要
- JP2‥現場だより「新規就農6年目、自ら考え実践することにやりがいを感じて!」中川 喬之 さん (亀岡市)
- P3·BUZZMAFF「となりの近畿」【大和丸なす】優勝はどのピザ!?4大学対抗ピザバトル / 「消費者の部屋」のご案内
- P4…政府備蓄米の無償交付に関する運用改善について / ~最近の各種統計情報の公表について~

令和7年度農林水産予算概算要求の概要

農林水産省では、食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、食料安全保障の強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための農林水産予算として、総額2兆6,389億円を要求。これは、令和6年度の予算額2兆2,686億円と比べて116.3%の額となっています。

【予算要求の重点事項】

- 1. 食料安全保障の強化
- 2. 農業の持続的な発展
- 3. 農村の振興 (農村の活性化)
- 4. みどりの食料システム戦略による環境 負荷低減に向けた取組強化
- 5. 多面的機能の発揮
- 6. カーボンニュートラルの実現・花粉症 解決に向けた森林・林業・木材産業総合対策
- 7. 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化

重点事項の内容や要求額、主要項目の事業内容等を説明したPR版資料については、以下のウェブサイトに掲載されていますのでご覧ください。

【ウェブサイトアドレス】

「令和7年度農林水産予算概算要求の概要」農林水産省ウェブサイト https://www.maff.go.jp/i/budget/r7yokyu.html

【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房予算課

代表: 03-3502-8111 (内線3164) ダイヤルイン: 03-3501-3716





明場だより

新規就農6年目、自ら考え実践することにやりがいを感じて! 中川 喬之 さん(亀岡市)

亀岡市で新規就農し、野菜を生産されている中川喬之さんにお話を伺いました。 (取材:2024年8月)



中川さんの作業小屋にて

自分の責任と判断で経営できる魅力ある職業

中川さんは、公務員から転職して新規就農を選択されました。

大学は農学部を卒業されており修得した知識を活かせることや自分の責任と判断で経営できることに魅力を感じたそうです。

その反面、自ら栽培技術の研鑚や経験の積み重ねが 必要で、失敗を重ね、反省しながら次に繋げていくこ とが重要と言われていました。

夏野菜の収穫真つ最中!

圃場では、ナス、キュウリ、トウガラシ、ピーマン、トマト、ミニトマトなどの夏野菜の収穫期でパートの皆さんが袋詰め作業に追われていました。

秋冬期には、えびいも、白菜、ブロッコリー、春菊、その他葉菜類を収穫されるそうです。露地栽培の他、6棟のビニールハウスでも栽培されています。

環境保全に配慮し土づくりを兼ねて堆肥の施用や緑肥(セスバニア)の輪作にも取り組んでおられます。



畑やハウスでたわわに実る夏作物



秋に収穫予定のえびいも畑にて

将来は、新規就農者研修の受け皿に

就農した集落に居住するようになって、共同作業に積極的に参加したり、朝から晩まで一生懸命営農していることで、集落内でも認められるようになって来られたそうです。

将来、経営が安定してきたら、新規就農を目指す方の受け皿となって研修先に選ばれるよう様々な検討をされていました。新規就農を目指す方には、自分でやると決めたら、頑張った分だけ成果が出ることを信じて頑張ってもらいたいとエールを送られていました。

BUZZMAFF『となりの近畿』

【大和丸なす】優勝はどのピザ!?4大学対抗ピザバトル

「となりの近畿」では、若手職員を中心に、となりにあるとほっこりするような近畿農業の魅力をお届けします。

奈良県大和郡山市三橋地区で栽培されている高級伝統野菜「大和丸なす」。 大和郡山市では大和丸なすの地元での 認知度向上・消費拡大を目指すため産 官学が連携して4大学対抗ピザバトルを 開催しています。



そのピザバトルでなんと!「となりの近畿」のメンバーが審査員をさせていただくことになりました!大和丸なすの栽培の秘訣から大学生のピザバトルに対する熱い想い等、大和丸なすのことが気になってくる動画となっているのでぜひご覧ください! 回路第回

【ウェブサイトアドレス】

「YouTube」外部リンク

https://www.youtube.com/watch?v=wMsWUmLYldk

「BUZZ MAFF『となりの近畿』」近畿農政局ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html



「消費者の部屋」のご案内(展示スケジュールのご案内)

近畿農政局では、消費者をはじめとした国民の皆様に情報を提供するため「消費者の部屋」を開設し、これらの場所を活用して身近な食生活や、農林水産省の取組などをテーマとする展示を行っています。お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

【展示スケジュール】

~近畿農政局での展示~

展示期間	テーマ	担当課等
9月17日(火曜日)~9月30日(月曜日)	MAFF-SAT活動記録	近畿農政局 農村振興部 防災課
9月17日(火曜日)~10月11日(金曜日)	日本茶を愉しもう!	近畿農政局 生産部 園芸特産課

「消費者の部屋」は近畿農政局正面入り口の北側に開設しており、入館手続きは不要ですので、お気軽にお立ち寄りください。展示期間、テーマ等について、変更する場合があります。

~他の会場での展示~

展示期間	テーマ	展示場所	担当課等			
9月2日(月曜日) ~9月11日(水曜日)	SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)	東山区役所(京都市) 1階 展示ホール	近畿農政局 経営·事業支援部 食品企業課			
9月9日(月曜日) ~9月18日(水曜日)	みんなで食育を推進しよう!	伏見区役所深草支所(京都市) 1階「コミュニティホール」	近畿農政局 消費安全部 消費生活課			

展示期間、テーマ等について、変更する場合があります。

【ウェブサイトアドレス】

「消費者の部屋のご案内」近畿農政局ウェブサイト https://www.maff.go.jp/kinki/syouhi/seikatu/tenji/index.html

【お問い合せ先】

近畿農政局 消費・安全部 消費生活課 担当者:千田、高礒 ダイヤルイン:075-414-9771



政府備蓄米の無償交付に関する運用改善について

農林水産省は、こども食堂・こども宅食への政府備蓄米の無償交付について、 運用改善を行います。

【趣旨】

農林水産省では食育の一環として、こども食堂・こども宅食への政府備蓄米の無償交付を行っています。このことについて、本制度をさらに利用しやすくし、食品アクセスの向上を図る観点から、(1)各地域拠点における交付申請窓口の開設、(2)交付申請の受付期間の通年化の2つの運用改善を令和6年9月2日(月曜日)から実施しています。

【運用改善】

(1) 交付申請窓口を大幅に拡大

これまで交付申請窓口について本省及び9か所の地方農政局等に設置していたところですが、加えて、都道府県の県庁所在地等にある地方農政局等の地域拠点51か所全てに窓口を開設し、地域のこども食堂・こども宅食からの申請・相談等に丁寧に対応します。



これまでは四半期ごとに交付申請期間を定めていましたが、今後は通年で交付申請を受付けることとします。これにより、切れ目なく交付ができるようになります。



「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/b_taisaku/240830.html

「学校給食用等政府備蓄米の交付について」農林水産省ウェブサイト https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/bichikumai.html

【お問い合せ先】

農林水産省 農産局穀物課米麦流通加工対策室 担当者:葛原、久野、齋藤、高松代表:03-3502-8111(内線4239) ダイヤルイン:03-3502-7950

~最近の各種統計情報の公表について~

【年計調査】

○8月30日 令和6年産水稲の8月15日現在における作柄概況

○8月30日 農業経営統計調査 令和5年産大豆生産費(個別経営体)

○8月30日 農業経営統計調査 令和5年産大豆生産費(組織法人経営体)

○8月30日 2023年漁業センサス結果の概要(概数値)

〇8月30日 令和5年新規就農者調査結果

【ウェブサイトアドレス】

「統計情報」農林水産省ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html

お問合せ先:近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL:075-414-9015

ホームページ: https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html





